

履修の手引き

2022 年度



未来を拓く医療人をめざして

北海道千歳リハビリテーション大学

Hokkaido Chitose College of Rehabilitation

目 次

はじめに

1. 北海道千歳リハビリテーション大学の教育目標	1
2. 学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	1
3. 教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	2
4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2

I. 授業について

1. 学年および学期	3
2. 授業時間と時間割	3
3. クラス編成	3
4. 単位制	3
5. 単位の授与	4
6. 授業科目	4
7. 休講、補講、集中講義	4
8. 出席確認	4
9. 授業評価アンケート	4
10. 授業の録音、撮影の禁止	4

II-I. 履修について 令和元年度（2019年度）以前入学者

1. 進級要件	5
2. 卒業要件	6
3. 臨床実習	8
4. 科目一覧	9
5. 教育マップ	13
※ 単位数および授業科目の読み替え表	15

II-II. 履修について 令和2年度（2020年度）以降入学者

1. 進級要件	16
2. 卒業要件	17
3. 臨床実習	19
4. 科目一覧	20
5. 教育マップ	24

【以下の6. 履修登録～11. 取得資格は、「令和元年度（2019年度）以前入学者」と「令和2年度（2020年度）以降入学者」と共通】

6. 履修登録	26
7. 在学年限	26

8. 休学期間	26
9. 卒業認定方法	26
10. 学位の授与	26
11. 取得資格	26

Ⅲ. 試験について

1. 試験の種類	27
2. 受験資格	27
3. 受験上の注意	28
4. 不正行為が発覚した場合	28
5. 試験における不正行為	28
6. レポート等における不正行為	29

Ⅳ. 成績評価について

1. 成績評価の方法	30
2. GPA 制度	30
3. GPA の対象外	31
4. GPA の算出方法	31
5. GPA の算出例	31
6. 成績の通知	31

はじめに

本学では、教育目標のもと、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）並びに入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を下記のとおり定めています。

皆さんは、人間力を高めつつ障害予防・健康増進などの新しいリハビリテーション医療のあり方に対応できる能力を4年間の課程で身につけるために、どのような方針および体系のもとでカリキュラムが編成されているかをしっかりと把握してください。本書は、入学から卒業までの学習を計画的に進めるために必要な情報を掲載しています。

1. 北海道千歳リハビリテーション大学の教育目標

- (1) 科学的な観察力、思考力ならびに表現力を身につける。
- (2) 他者の痛みの分かる心を持ち、他者の立場になって行動する態度を身につける。
- (3) 地域の課題に積極的に関わり、その課題解決に貢献する姿勢を養う。
- (4) 自ら問題を解決する能力と生涯にわたって学習を継続する姿勢とを養う。

2. 学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

北海道千歳リハビリテーション大学の建学の精神は、「医療専門職教育を通じて真の人間を育成する」ことにあります。

この建学の精神に則り、「生命の尊厳」を基調とする医療専門職（理学療法士、作業療法士）としての使命感を自覚し、社会に奉仕し得る人間の育成、並びに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていくことのできる人材の養成を通じて、我が国の保健医療の発展と国民の健康増進に貢献することを目指しています。

この目標達成に向け、4年間の学部教育課程において、所定の期間在学して卒業に必要な単位を修得し、学位授与基準を満たしたことを定める審査に合格することによって学士（理学療法学または作業療法学）の学位を授与します。

その学位授与基準を満たすための学習到達目標は以下のとおりです。

- (1) 人間の尊厳と多様な価値観を理解し、他者との信頼関係を築き、高い倫理観をもって責任ある行動をとることができる。
- (2) 理学療法士および作業療法士として必要な専門的知識と技術を修得し、人の身体および精神機能における諸問題に対して、広い視野から捉えるとともに、根拠に基づく論理的思考をもって解決することができる。
- (3) 医学・医療の進歩ならびに社会のニーズの変化に対応するために、自己の専門性を発揮して地域社会に貢献する意欲と能力を持ち、生涯にわたり自己研鑽することができる。
- (4) 地域社会のもつ文化、個々人の生活習慣の特性、地域社会と生活に根ざしたりリハビリテーションの使命と役割について理解し、対応することができる。

3. 教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

北海道千歳リハビリテーション大学は、本学の「建学の精神」、および「学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、その学習到達目標を達成するために、以下のようなカリキュラムの方針に則り編成します。

- (1) 人間、生命と健康、社会と環境、文化とコミュニケーションに対する理解を深めるため、教養科目群を設けます。
- (2) 初年度に大学での学び方を中心とした導入基礎科目を設けます。
- (3) 医学の基盤として人体の構造、機能、病態を理解する専門基礎科目と、本学の目指す予防リハビリテーションの学問的基盤を習得するため、「健康増進・障害予防」関連科目を設けます。
- (4) 理学療法、作業療法の臨床および研究活動に必要な知識、技術、問題解決能力を修得するための専門科目を設けます。
- (5) 高度で専門的な内容へ段階的に進めるよう、教養科目・専門基礎科目・専門科目の履修順序を体系的に編成します。
- (6) 学生の主体的な学習を促すために、講義、実技、演習、ゼミナール等を組み合わせることにより、各科目に適した授業を編成します。

【理学療法学専攻】

教育課程の概要

人々が共により豊かで健康的な生活を営むことのできるように、身体の運動機能を最良の状態に保持し、さらに改善するために必要な科学的知識と技術を修得し、広い視野を持ち多様なアプローチを用いた支援ができる理学療法士の養成を目指します。

【作業療法学専攻】

教育課程の概要

身体または精神に障害のある人に対し、およびそれらの障害をきたす可能性のある人に対し、全人間性の回復というリハビリテーションの理念のもとに、人間の身体および精神機能、日常生活の諸活動ならびに作業活動能力などを改善するために必要な知識と技術を修得し、広い視野を持ち多様なアプローチを用いた支援ができる作業療法士の養成を目指します。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- (1) 学問に対する探究や課題解決に向けて主体的に取り組もうとする人
- (2) 人を思いやる心と倫理性を持つために他者の心身に気配りする人
- (3) 常にチャレンジ精神を持ち、積極的に他者との協調や連携を持とうとする人
- (4) 使命感を持ち、根気強く、最後まで責任を持ち続けようとする人

I. 授業について

1. 学年および学期

- (1) 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。
- (2) 学期は次の2学期です。
前期 4月1日から9月30日
後期 10月1日から3月31日
※ 授業回数確保等のため、変則的に後期の開始が9月中になることがあります。

2. 授業時間と時間割

- (1) 授業時間は、次のとおりです。授業科目によっては別に指定することがあります。

1 講目	9:00~10:30
2 講目	10:40~12:10
〈昼休み〉	12:10~13:00
3 講目	13:00~14:30
4 講目	14:40~16:10
5 講目	16:20~17:50
6 講目	18:00~19:30

- (2) 1講90分のうち、60分以上を受講しなければ欠席となります。
- (3) 時間割は、学年別、クラス別に編成されています。
※ 授業科目によっては、授業時間が変更される場合があります。この場合は、掲示板でお知らせします。
※ 必要に応じて、土曜日に授業を行うこともあります。

3. クラス編成

- (1) 理学療法学専攻は、A 組、B 組の2クラス（1クラス40名を基本とします）。
- (2) 作業療法学専攻は、1クラス（30名を基本とします）。

4. 単位制

1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して次の基準により単位数を定めています。

講義	15時間をもって1単位とする。 (教育上必要があるときは、30時間の講義をもって1単位とすることができる)
演習	30時間をもって1単位とする。 (教育上必要があるときは、15時間の講義をもって1単位とすることができる)
実習	45時間をもって1単位とする。 (教育上必要があるときは、30時間の講義をもって1単位とすることができる)

5. 単位の授与

授業科目を履修し、その科目の試験に合格した者には、所定の単位を授与します。

6. 授業科目

(1) 授業科目は、教養科目、専門基礎科目および専門科目で構成されています。

教養科目	リハビリテーションの知識と技術とが、現代社会で果たす意味を自覚できるように、必要な基本的知識を学びます。
専門基礎科目	高度な専門知識や技術を学ぶための前提となる両専攻共通の科目を学びます。
専門科目	各専攻に関する高度な理論・演習・臨床実習を系統的に学習し、実践的な手法を学びます。

(2) 各科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目で構成されています。

必修科目	卒業までに必ず単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	卒業までに決められた科目から決められた単位数を修得しなければならない科目
選択科目	定められた条件内で選択できる科目

7. 休講、補講、集中講義

(1) 担当教員の都合により授業ができなくなった場合は、休講となります。

(2) 補講は、休講となった授業に行います。

(3) 集中講義は、授業科目によりある一定期間に集中して講義を行います。

※ 上記(1)～(3)のほか、教室変更等のお知らせは、掲示板で行います。

8. 出席確認

すべての授業で毎回出席確認を行います。各授業科目の時間数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることはできませんので、ご注意ください。(Ⅲ. 試験について2. 受験資格：参照P27)

9. 授業評価アンケート

本学では、教員の教育活動の向上について検討を行うことを目的に、臨床実習およびセミナーを除く科目の最終講義日に授業評価アンケートを無記名で実施しています。

これは、授業の質を高めるために行うもので、皆さんの素直な評価をお願いします。

10. 授業の録音、撮影の禁止

本学では、個人情報の保護、プライバシーへの配慮および著作権保護の観点から、授業のすべてについて、録音、撮影は禁止します。ただし、「合理的配慮」等の個別事情については、担当教員に相談してください。

Ⅱ-I. 履修について 令和元年度（2019年度）以前入学者

1. 進級要件

学生が進級するためには、次の条件を満たさなければなりません。

- (1) その学年の必修科目，選択必修科目の単位を全て修得すること。
- (2) 理学療法学専攻および作業療法学専攻ごとに規定する単位数を修得していること。

【理学療法学専攻】

要件	1年生	2年次へ進級するために1年次修了時までに修得しなければならない単位数	2年生	3年次へ進級するために2年次修了時までに修得しなければならない単位数	3年生	4年次へ進級するために3年次修了時までに修得しなければならない単位数
単位数	教養科目	14単位	教養科目	17単位	教養科目	22単位
	専門基礎科目	16単位	専門基礎科目	37単位	専門基礎科目	38単位
	専門科目	3単位	専門科目	11単位	専門科目	41単位

【作業療法学専攻】

要件	1年生	2年次へ進級するために1年次修了時までに修得しなければならない単位数	2年生	3年次へ進級するために2年次修了時までに修得しなければならない単位数	3年生	4年次へ進級するために3年次修了時までに修得しなければならない単位数
単位数	教養科目	14単位	教養科目	17単位	教養科目	22単位
	専門基礎科目	16単位	専門基礎科目	36単位	専門基礎科目	37単位
	専門科目	3単位	専門科目	16単位	専門科目	41単位

2. 卒業要件

学生が卒業するためには、理学療法学専攻および作業療法学専攻ごとに規定する所定の科目を履修し、必要な単位数を修得しなければなりません。

【理学療法学専攻】

- (1) 理学療法学専攻における卒業に必要な単位取得数は、129単位です。
- (2) 最も履修単位が多い1年次の履修可能単位数は、43単位（必修科目30単位、選択科目13単位）であることから、この43単位をもって1年間の履修科目の登録上限とします。

科 目	必修科目	選択科目	合 計
教養科目	17単位	5単位	22単位
専門基礎科目	37単位	3単位	40単位
専門科目	0単位	67単位	67単位
合 計	54単位	75単位	129単位

※ 専門科目の選択科目は、選択必修科目から57単位および選択科目から10単位以上を修得しなければなりません。なお、選択科目の履修は下記により選択してください。

理 学 療 法 臨床実習	臨床見学セミナー（理学療法）	1年前期	1単位	8 科 目 よ り 4 単 位 以 上 選 択
	臨床評価学セミナー（理学療法）	3年前期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅠ（理学療法）	4年前期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	4年前期	1単位	
応 用 理 学 療法	理学療法管理学	4年後期	1単位	7 科 目 よ り 6 単 位 以 上 選 択
	理学療法ゼミⅠ	3年通年	2単位	
	理学療法ゼミⅡ	4年後期	4単位	
応 用 リ ハ ビ リ テ ー ション	国際医療支援論	4年後期	1単位	7 科 目 よ り 6 単 位 以 上 選 択
応 用 理 学 療法	スポーツ傷害理学療法学	3年前期	1単位	
	高齢者理学療法学	3年前期	1単位	
	神経筋疾患理学療法学	3年前期	1単位	
	神経障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
	運動器障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
	内部障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
応 用 リ ハ ビ リ テ ー ション	生活行為向上リハビリテーション論	3年前期	2単位	

【作業療法学専攻】

- (1) 作業療法学専攻における卒業に必要な単位取得数は、129単位です。
- (2) 最も履修単位が多い1年次の履修可能単位数は、44単位（必修科目30単位、選択科目14単位）であることから、この44単位をもって1年間の履修科目の登録上限とします。

科 目	必修科目	選択科目	合 計
教養科目	17単位	5単位	22単位
専門基礎科目	37単位	2単位	39単位
専門科目	0単位	68単位	68単位
合 計	54単位	75単位	129単位

※ 専門科目の選択科目は、選択必修科目から60単位および選択科目から8単位以上を修得しなければなりません。なお、選択科目の履修は下記により選択してください。

作業療法 臨床実習	臨床見学セミナー（作業療法）	1年前期	1単位	6科目 より4 単位以 上選択
	臨床評価学セミナー（作業療法）	3年前期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	4年前期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	4年前期	1単位	
応用作業 療法	作業療法管理学	4年後期	1単位	
応用リハ ビリテー ション	国際医療支援論	4年後期	1単位	
応用作業 療法	作業療法特別セミナー	4年後期	3単位	6科目 より4 単位以 上選択
	特別支援教育概論	4年後期	1単位	
	箱づくり法	4年後期	1単位	
	身体・老年期障害作業治療学特論	4年後期	1単位	
	精神障害作業治療学特論	4年後期	1単位	
	発達障害作業治療学特論	4年後期	1単位	

3. 臨床実習

理学療法学専攻および作業療法学専攻の臨床実習は、基礎的な理学療法・作業療法が実施できるレベルを目指し、人を思いやる心や責任感を養うことを目標としています。同時に、観察力や思考力及び表現力を高めることで対象となる方々の有する問題を解決する能力を身につけることを目指します。

【理学療法学専攻】

科 目 名	単位数	時 期	期 間
①臨床見学実習(理学療法)	1単位	1年前期(9月予定)	1週間
②臨床評価学実習(理学療法)	4単位	3年前期(8～9月予定)	4週間
③臨床治療学実習Ⅰ(理学療法)	8単位	4年前期(4～6月予定)	8週間
④臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)	8単位	4年前期(7～8月予定)	8週間

※ ②臨床評価学実習(理学療法)の履修条件

専門科目の科目区分「理学療法評価学」のすべての授業科目および臨床見学実習(理学療法)を修得していなければなりません。

※ ③臨床治療学実習Ⅰ(理学療法)および④臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)の履修条件

専門科目の科目区分「理学療法治療学」のすべての授業科目および臨床評価学実習(理学療法)を修得していなければなりません。

【作業療法学専攻】

科 目 名	単位数	時 期	期 間
①臨床見学実習(作業療法)	1単位	1年前期(9月予定)	1週間
②臨床評価学実習(作業療法)	4単位	3年前期(8～9月予定)	4週間
③臨床治療学実習Ⅰ(作業療法)	8単位	4年前期(4～6月予定)	8週間
④臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)	8単位	4年前期(7～8月予定)	8週間

※ ②臨床評価学実習(作業療法)の履修条件

専門科目の科目区分「作業療法評価学」のすべての授業科目、作業分析学、日常生活活動学(作業療法)および臨床見学実習(作業療法)を修得していなければなりません。

※ ③臨床治療学実習Ⅰ(作業療法)および④臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)の履修条件

専門科目の科目区分「作業療法治療学」のすべての授業科目および臨床評価学実習(作業療法)を修得していなければなりません。

4. 科目一覧

理学療法学専攻の科目一覧

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（計33単位）	導 科 目 基 礎	学びの技法	講	必修17単位＋選択5単位以上	必(1)							
		理解と表現	講		必(2)							
		社会貢献の方法と実践	講		必(1)							
		情報学	講		選(1)							
	人 間 の 理 解	心理学	講		必(2)							
		倫理学	講		選(1)							
		応用倫理学	講			必(1)						
		思想の歴史	講			選(1)						
	社 会 の 認 識	歴史学	講			選(1)						
		社会調査法	講		選(1)							
		現代の社会と人間	講				必(1)					
		北海道の医療と社会・経済	講			必(1)						
	自 然 の 探 求	文化人類学	講				選(1)					
		生命科学概論	講		必(1)							
		自然科学概論	講		必(1)							
		統計学	講		選(1)							
		生物学	講		選(1)							
		基礎生化学	講			必(2)						
		物理学	講			選(1)						
	英 語 科 目	スポーツ・レクリエーション学	講					選(1)				
		基礎英語	講		必(2)							
		英会話	講			選(2)						
		英語ライティング	講					選(2)				
		保健医学英語Ⅰ	講					必(2)				
専門基礎科目（計42単位）	基 礎 医 学	保健医学英語Ⅱ	講	必修37単位＋選択3単位以上					選(2)			
		人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	講		必(2)							
		人体構造機能学Ⅰ（神経系）	講		必(2)							
		人体構造機能学Ⅰ（内臓・脈管系）	講			必(2)						
		人体構造機能学Ⅱ（筋・骨関節系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（神経系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（内臓・脈管系）	演				必(1)					
		人体構造機能学実習	実					必(3)				
		運動学	講			必(2)						
		運動学演習	演			必(2)						
		老年学	講				必(1)					
		人間発達学	講			必(1)						
	臨 床 医 学	精神障害基礎論	講				必(1)					
		薬理学概論	講					選(1)				
		医学概論	講				必(1)					
		リハビリテーション概論	講		必(1)							
		周術期医療基礎論	講				必(1)					
		内部障害基礎論	講				必(2)					
		運動器障害基礎論	講				必(2)					
		中枢神経障害基礎論	講				必(2)					
		発達障害基礎論	講				必(1)					
		医用画像解析学概論	講					選(1)				
		臨床心理学	講				必(2)					
		医療安全管理学	講						必(1)			
	保 健 医 療 福 祉 と シ ョ ン の 理 念	公衆衛生学	講								必(1)	
		福祉介護概論	講					選(1)				
		在宅リハビリテーション学	講					選(1)				
		言語聴覚療法概論	講					選(1)				
		健康増進障害予防概論	講			必(2)						
		健康増進障害予防演習Ⅰ（検査測定）	演					必(1)				
		健康増進障害予防演習Ⅱ（実践指導）	演									必(1)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目（計80単位）	基礎 法 理 学	理学療法概論	講	選択 67 単位 以上	選必(1)							
		日常生活活動学(理学療法)	講					選必(2)				
		物理療法学	講						選必(2)			
		義肢装具学（理学療法）	講						選必(2)			
	理 学 療 法 評 価 学	理学療法基礎評価学Ⅰ	講				選必(1)					
		理学療法基礎評価学Ⅰ 演習	演				選必(1)					
		理学療法基礎評価学Ⅱ	講					選必(2)				
		日常生活活動評価学	講					選必(1)				
		日常生活活動評価学演習	演					選必(1)				
		理 学 療 法 治 療 学	神経障害理学療法学		講					選必(2)		
	神経障害理学療法学演習		演						選必(1)			
	神経障害理学療法学実習		実							選必(1)		
	運動器障害理学療法学		講						選必(2)			
	運動器障害理学療法学演習Ⅰ		演						選必(1)			
	運動器障害理学療法学演習Ⅱ		演							選必(1)		
	内部障害理学療法学		講						選必(2)			
	内部障害理学療法学演習Ⅰ		演						選必(1)			
	内部障害理学療法学演習Ⅱ		演							選必(1)		
	療 理 地 法 学 域		地域理学療法学		講						選必(2)	
		生活環境学（理学療法）	講							選必(2)		
	理 学 療 法 臨 床 実 習	臨床見学セミナー（理学療法）	演		選(1)							
		臨床見学実習（理学療法）	実		選必(1)							
		臨床評価学セミナー（理学療法）	演						選(1)			
		臨床評価学実習（理学療法）	実						選必(4)			
		臨床治療学セミナーⅠ（理学療法）	演								選(1)	
		臨床治療学実習Ⅰ（理学療法）	実								選必(8)	
		臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	演								選(1)	
		臨床治療学実習Ⅱ（理学療法）	実								選必(8)	
	応 用 理 学 療 法	ケーススタディー	講							選必(2)		
		理学療法研究法	講							選必(1)		
		理学療法研究法演習（卒業研究）	演								選必(4)	
		理学療法管理学	講									選(1)
		理学療法ゼミⅠ	講						選(2)			
		理学療法ゼミⅡ	講									選(4)
		スポーツ傷害理学療法学	講						選(1)			
		高齢者理学療法学	講						選(1)			
		神経筋疾患理学療法学	講						選(1)			
		神経障害理学療法学特論	講									選(2)
		運動器障害理学療法学特論	講									選(2)
		内部障害理学療法学特論	講									選(2)
		シ ョ ー ン	生活行為向上リハビリテーション論		講					選(2)		
	国際医療支援論		講									選(1)
合計単位数				155	23	20	18	20	23	15	36	

※授業形態 「講」：講義 「演」：演習 「実」：実験・実習
 ※配当年次 「必」：必修科目 「選必」：選択必修科目 「選」：選択科目

令和元年度（2019 年度）以前入学者

作業療法学専攻の科目一覧

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（計 33 単位）	導 科 入 目 基 礎	学びの技法	講	必修 17 単位 + 選択 5 単位以上	必 (1)							
		理解と表現	講		必 (2)							
		社会貢献の方法と実践	講		必 (1)							
		情報学	講		選 (1)							
	人 間 の 理 解	心理学	講		必 (2)							
		倫理学	講		選 (1)							
		応用倫理学	講			必 (1)						
		思想の歴史	講			選 (1)						
	社 会 の 認 識	歴史学	講			選 (1)						
		社会調査法	講		選 (1)							
		現代の社会と人間	講				必 (1)					
		北海道の医療と社会・経済	講			必 (1)						
	自 然 の 探 求	文化人類学	講				選 (1)					
		生命科学概論	講		必 (1)							
		自然科学概論	講		必 (1)							
		統計学	講		選 (1)							
		生物学	講		選 (1)							
		基礎生化学	講			必 (2)						
		物理学	講			選 (1)						
	英 語 科 目	スポーツ・レクリエーション学	講					選 (1)				
		基礎英語	講		必 (2)							
		英会話	講			選 (2)						
		英語ライティング	講				選 (2)					
		保健医学英語 I	講				必 (2)					
専門基礎科目（計 42 単位）	基 礎 医 学	保健医学英語 II	講	必修 37 単位 + 選択 2 単位以上					選 (2)			
		人体構造機能学 I（筋・骨関節系）	講		必 (2)							
		人体構造機能学 I（神経系）	講		必 (2)							
		人体構造機能学 I（内臓・脈管系）	講			必 (2)						
		人体構造機能学 II（筋・骨関節系）	演			必 (1)						
		人体構造機能学 II（神経系）	演			必 (1)						
		人体構造機能学 II（内臓・脈管系）	演				必 (1)					
		人体構造機能学実習	実					必 (3)				
		運動学	講			必 (2)						
		運動学演習	演			必 (2)						
		老年学	講				必 (1)					
		人間発達学	講			必 (1)						
	臨 床 医 学	精神障害基礎論	講				必 (1)					
		薬理学概論	講					選 (1)				
		医学概論	講				必 (1)					
		リハビリテーション概論	講		必 (1)							
		周術期医療基礎論	講				必 (1)					
		内部障害基礎論	講				必 (2)					
		運動器障害基礎論	講				必 (2)					
		中枢神経障害基礎論	講				必 (2)					
		発達障害基礎論	講				必 (1)					
		医用画像解析学概論	講					選 (1)				
		臨床心理学	講				必 (2)					
		医療安全管理学	講						必 (1)			
	保 健 医 療 福 祉 と シ ョ ン の 理 念	公衆衛生学	講								必 (1)	
		福祉介護概論	講					選 (1)				
		在宅リハビリテーション学	講					選 (1)				
		言語聴覚療法概論	講					選 (1)				
		健康増進障害予防概論	講			必 (2)						
		健康増進障害予防演習 I（検査測定）	演					必 (1)				
		健康増進障害予防演習 II（実践指導）	演									必 (1)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次									
					1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目（計74単位）	基礎作業療法	作業療法概論	講	選択68単位以上	選必(1)									
		作業学概論	講					選必(2)						
		作業分析学	演					選必(2)						
		日常生活活動学（作業療法）	講					選必(2)						
		日常生活活動学（作業療法）演習	演						選必(1)					
		義肢装具学（作業療法）	講							選必(1)				
		義肢装具学（作業療法）演習	演							選必(1)				
		社会生活行為学	講							選必(1)				
	作業療法評価学	作業療法評価学（身体・老年期障害）	講			選必(1)								
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体・老年期障害）	演				選必(1)							
		作業療法評価学演習Ⅱ（身体・老年期・発達障害）	演					選必(1)						
		作業療法評価学（精神障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学演習Ⅲ（精神障害）	演					選必(1)						
		作業療法評価学（発達障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学（高次脳機能障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学演習Ⅳ（高次脳機能障害）	演					選必(1)						
	作業療法学	身体障害作業治療学	講							選必(2)				
		精神障害作業治療学	講							選必(2)				
		発達障害作業治療学	講								選必(2)			
		老年期障害作業治療学	講								選必(2)			
		高次脳機能障害作業治療学	講								選必(1)			
	療作地業域	生活環境学（作業療法）	講							選必(2)				
		地域作業療法学	講								選必(2)			
	作業療法臨床実習	臨床見学セミナー（作業療法）	演			選(1)								
		臨床見学実習（作業療法）	実			選必(1)								
		臨床評価学セミナー（作業療法）	演							選(1)				
		臨床評価学実習（作業療法）	実							選必(4)				
		臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	演									選(1)		
		臨床治療学実習Ⅰ（作業療法）	実									選必(8)		
		臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	演									選(1)		
		臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	実									選必(8)		
	応用作業療法	作業療法研究法	講								選必(1)			
		作業療法研究法演習（卒業研究）	演										選必(4)	
		作業療法管理学	講											選(1)
		作業療法特別セミナー	講											選(3)
		特別支援教育概論	講											選(1)
		箱づくり法	講											選(1)
		身体・老年期障害作業治療学特論	講											選(1)
		精神障害作業治療学特論	講											選(1)
	シハテョーリン	生活行為向上リハビリテーション論	講							選必(2)				
		国際医療支援論	講											選(1)
		合計単位数				149	23	21	17	26	16	12	34	

※授業形態 「講」：講義 「演」：演習 「実」：実験・実習
 ※配当年次 「必」：必修科目 「選必」：選択必修科目 「選」：選択科目

5. 教育マップ

(1) 教養科目

教養科目では、直接人を相手とする医療専門職に必須である豊かな人間性を培い、同時にリハビリテーションの知識と技術とが現代社会で果たす意味を学生が自覚できるようになることを目指しています。学生がリハビリテーション医療従事者としての使命感とやり甲斐とを、まず明確にしてほしいと願っています。具体的には、学習をはじめに当たってまず身につけておくべき態度と技術を教える「導入基礎科目」、そして人間・社会・自然に関する幅広い理解を得るために、「人間の理解」、「社会の認識」、「自然の探求」という科目区分を設けてあります。また、英語能力の多面的な修得のために、3年次まで多くの授業科目が開講されます。

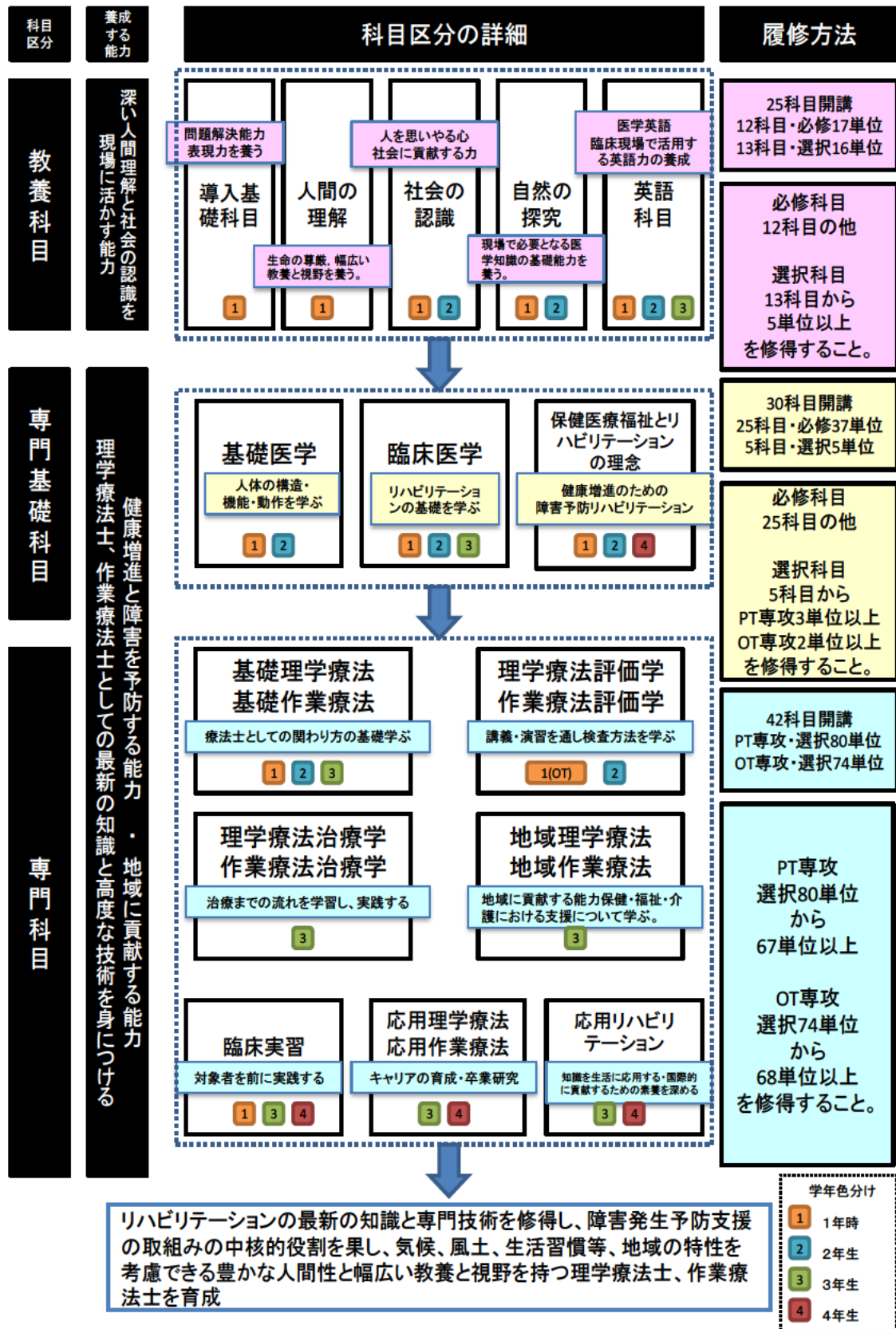
(2) 専門基礎科目

専門基礎科目は、専門科目を学修する前に、その基礎となる事柄を修得します。「基礎医学」11科目、「臨床医学」12科目、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」7科目の3区分からなります。

(3) 専門科目

専門科目では、理学療法士、作業療法士になるために必須な専門的知識と技術を学修します。「基礎理学療法・基礎作業療法」、「理学療法評価学・作業療法評価学」、「理学療法治療学・作業療法治療学」、「地域理学療法・地域作業療法」、「理学療法臨床実習・作業療法臨床実習」、「応用理学療法・応用作業療法」、「応用リハビリテーション」の7つの科目区分からなり、理学療法学専攻42科目、作業療法学専攻42科目の授業科目があります。

健康科学部 リハビリテーション学科



※ 単位数および授業科目の読み替え表

入学時の教育課程が卒業まで適用されます。履修した授業科目の試験結果が不合格になるなど、本来の開講学年で単位を履修することができない場合、次年度に再履修し、試験に合格することで単位を修得することができます。ただし、教育課程の改正（授業科目の廃止・新設・単位数の変更）に伴い、当該授業科目を再履修できなくなる場合があります。

このため、廃止・単位数が変更された授業科目の代わりに別の授業科目を履修し、単位を修得することで、廃止・単位数が変更された授業科目の単位を修得したものとして読み替えることがあります。

この授業科目の読み替え方法については、下記を確認してください。また、不明な点がありましたら、自分で判断せずに必ず学務課で確認してください。

単位数および授業科目の読み替え表

		2019年度以前カリキュラム				2020年度以降カリキュラム				変更内容	2019年度以前入学者が2020年度以降カリキュラムを履修する際の読み替えの対応
		授業科目の名称	配当 年次	単位数		配当 年次	単位数				
				必 修	選 択		必 修	選 択			
両専攻	専門基礎科目	人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	1前	2		1前	3		単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする	
	運動学	1後	2		1後	4		単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする		
	運動学演習	1後	2		1後	3		単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする		
	薬理学概論	2後	1		2後	1		選択から必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	運動器障害基礎論	2前	2		2前	3		単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする		
	医用画像解析学概論	2後	1		2後	1		選択から必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
理学療法専攻	専門科目	理学療法基礎評価学Ⅰ	2前		選必1	2前		選必2	単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする	
	理学療法基礎評価学Ⅱ	2後		選必2	2後		選必3	単位数増加	2019年度以前カリキュラムの単位数取得とする		
	臨床見学セミナー（理学療法）	1前		1	1前		選必1	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	臨床評価学セミナー（理学療法）	3前		1	3後		選必1	履修期変更と選択から選択必修へ	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修し、2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	臨床評価学実習（理学療法）	3前		4	3後		選必4	履修期変更と選択から選択必修へ	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修し、2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	臨床治療学セミナーⅠ（理学療法）	4前		1	4前		選必1	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	4前		1	4前		選必1	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	理学療法管理学	4後		1	4後		選必2	単位数増加と選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目、単位数としての単位取得とする		
	理学療法ゼミⅠ	3通		2	3通		選必2	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	理学療法ゼミⅡ	4後		4	4後		選必4	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	高齢者理学療法学	3前		1	3前		選必1	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
	神経筋疾患理学療法学	3前		1	3前		選必1	選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目としての単位取得とする		
作業療法専攻	専門科目	作業学概論	2後		選必2	2後		選必1	単位数減少	2019年度以前カリキュラムの学生を対象とした講義を別に開講する	
	日常生活活動学（作業療法）	2後		選必2	3前		選必2	履修年度変更	2019年度以前カリキュラムの学生を対象とした講義を別に開講する		
	義肢装具学（作業療法）	3後		選必1	3前		選必1	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	義肢装具学（作業療法）演習	3後		選必1	3前		選必1	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	精神障害作業治療学	3前		選必1	3後		選必1	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	総合事例演習	3後				3後		選必2	新科目	聴講を認めるが単位は選択としても認めない	
	総合実技演習	3後				3後		選必2	新科目	聴講を認めるが単位は選択としても認めない	
	地域作業療法学	3後		選必2	3前		選必2	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	臨床見学セミナー（作業療法）	1前		1	1前			科目廃止	2020年度以降カリキュラムの「臨床見学セミナーⅠ（作業療法）」を履修することで読み替える		
	臨床見学実習（作業療法）	1前		選必1	1前			科目廃止	2020年度以降カリキュラムの「臨床見学実習Ⅰ（作業療法）」を履修することで読み替える		
	臨床見学セミナーⅠ（作業療法）	1前			1前		1	新科目	2019年度以前カリキュラムの「臨床見学セミナー（作業療法）」として読み替える		
	臨床見学実習Ⅰ（作業療法）	1前			1前		選必1	新科目	2019年度以前カリキュラムの「臨床見学実習（作業療法）」として読み替える		
	臨床見学セミナーⅡ（作業療法）	2前			2前		1	新科目	聴講を認めるが単位は選択としても認めない		
	臨床見学実習Ⅱ（作業療法）	2前			2前		選必1	新科目	履修を認めない		
	臨床評価学セミナー（作業療法）	3前		1	3後		1	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	臨床評価学実習（作業療法）	3前		選必1	3後		選必1	履修期変更	2020年度以降カリキュラムの開講期に履修する		
	作業療法管理学	4後		1	4後		選必2	単位数増加と選択から選択必修へ	2019年度以前カリキュラムの選択科目、単位数としての単位取得とする		

Ⅱ-Ⅱ. 履修について 令和2年度（2020年度）以降入学者

1. 進級要件

学生が進級するためには、次の条件を満たさなければなりません。

- (1) その学年の必修科目、選択必修科目の単位を全て修得すること。
- (2) 理学療法学専攻および作業療法学専攻ごとに規定する単位数を修得していること。

【理学療法学専攻】

要件	1年生	2年生	3年生
	2年次へ進級するために1年次修了時までに修得しなければならない単位数	3年次へ進級するために2年次修了時までに修得しなければならない単位数	4年次へ進級するために3年次修了時までに修得しなければならない単位数
単	教養科目 14単位	教養科目 17単位	教養科目 22単位
位	専門基礎科目 20単位	専門基礎科目 42単位	専門基礎科目 43単位
数	専門科目 3単位	専門科目 13単位	専門科目 45単位

【作業療法学専攻】

要件	1年生	2年生	3年生
	2年次へ進級するために1年次修了時までに修得しなければならない単位数	3年次へ進級するために2年次修了時までに修得しなければならない単位数	4年次へ進級するために3年次修了時までに修得しなければならない単位数
単	教養科目 14単位	教養科目 17単位	教養科目 22単位
位	専門基礎科目 20単位	専門基礎科目 42単位	専門基礎科目 43単位
数	専門科目 3単位	専門科目 14単位	専門科目 44単位

2. 卒業要件

学生が卒業するためには、理学療法学専攻および作業療法学専攻ごとに規定する所定の科目を履修し、必要な単位数を修得しなければなりません。

【理学療法学専攻】

- (1) 理学療法学専攻における卒業に必要な単位取得数は、146単位です。
- (2) 最も履修単位が多い1年次の履修可能単位数は、47単位（必修科目34単位、選択科目13単位）であることから、この47単位をもって1年間の履修科目の登録上限とします。

科 目	必修科目	選択科目	合 計
教養科目	17単位	5単位	22単位
専門基礎科目	44単位	1単位	45単位
専門科目	0単位	79単位	79単位
合 計	61単位	85単位	146単位

※ 専門科目の選択科目は、選択必修科目から73単位および選択科目から6単位以上を修得しなければなりません。なお、選択科目の履修は下記により選択してください。

応用リハビリテーション	国際医療支援論	4年後期	1単位	6科目より6単位以上選択
応用理学療法	スポーツ傷害理学療法学	3年前期	1単位	
	神経障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
	運動器障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
	内部障害理学療法学特論	4年後期	2単位	
応用リハビリテーション	生活行為向上リハビリテーション論	3年前期	2単位	

【作業療法学専攻】

- (1) 作業療法学専攻における卒業に必要な単位取得数は、142単位です。
- (2) 最も履修単位が多い1年次の履修可能単位数は、48単位（必修科目34単位、選択科目14単位）であることから、この48単位をもって1年間の履修科目の登録上限とします。

科 目	必修科目	選択科目	合 計
教養科目	17単位	5単位	22単位
専門基礎科目	44単位	1単位	45単位
専門科目	0単位	75単位	75単位
合 計	61単位	81単位	142単位

※ 専門科目の選択科目は、選択必修科目から66単位および選択科目から9単位以上を修得しなければなりません。なお、選択科目の履修は下記により選択してください。

作業療法 臨床実習	臨床見学セミナーⅠ（作業療法）	1年前期	1単位	6科目 より5 単位以 上選択
	臨床見学セミナーⅡ（作業療法）	2年前期	1単位	
	臨床評価学セミナー（作業療法）	3年後期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	4年前期	1単位	
	臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	4年前期	1単位	
応用リハ ビリテー ション	国際医療支援論	4年後期	1単位	
応用作業 療法	作業療法特別セミナー	4年後期	3単位	6科目 より4 単位以 上選択
	特別支援教育概論	4年後期	1単位	
	箱づくり法	4年後期	1単位	
	身体・老年期障害作業治療学特論	4年後期	1単位	
	精神障害作業治療学特論	4年後期	1単位	
	発達障害作業治療学特論	4年後期	1単位	

3. 臨床実習

理学療法学専攻および作業療法学専攻の臨床実習は、基礎的な理学療法・作業療法が実施できるレベルを目指し、人を思いやる心や責任感を養うことを目標としています。同時に、観察力や思考力及び表現力を高めることで対象となる方々の有する問題を解決する能力を身につけることを目指します。

【理学療法学専攻】

科 目 名	単位数	時 期	期 間
①臨床見学実習(理学療法)	1単位	1年前期(9月予定)	1週間
②臨床評価学実習(理学療法)	4単位	3年後期(2月予定)	4週間
③臨床治療学実習Ⅰ(理学療法)	8単位	4年前期(4～6月予定)	8週間
④臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)	8単位	4年前期(7～8月予定)	8週間

※ ②臨床評価学実習(理学療法)の履修条件

専門科目の科目区分「理学療法評価学」のすべての授業科目および臨床見学実習(理学療法)を修得していなければなりません。

※ ③臨床治療学実習Ⅰ(理学療法)および④臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)の履修条件

専門科目の科目区分「理学療法治療学」のすべての授業科目および臨床評価学実習(理学療法)を修得していなければなりません。

【作業療法学専攻】

科 目 名	単位数	時 期	期 間
①臨床見学実習Ⅰ(作業療法)	1単位	1年前期(9月予定)	1週間
②臨床見学実習Ⅱ(作業療法)	1単位	2年前期(9月予定)	1週間
③臨床評価学実習(作業療法)	4単位	3年後期(2月予定)	4週間
④臨床治療学実習Ⅰ(作業療法)	8単位	4年前期(4～6月予定)	8週間
⑤臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)	8単位	4年前期(7～8月予定)	8週間

※ ③臨床評価学実習(作業療法)の履修条件

専門科目の科目区分「作業療法評価学」のすべての授業科目、作業分析学、日常生活活動学(作業療法)、臨床見学実習Ⅰ(作業療法)および臨床見学実習Ⅱ(作業療法)を修得していなければなりません。

※ ④臨床治療学実習Ⅰ(作業療法)および⑤臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)の履修条件

専門科目の科目区分「作業療法治療学」のすべての授業科目および臨床評価学実習(作業療法)を修得していなければなりません。

4. 科目一覧

理学療法専攻の科目一覧

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（計33単位）	導入科目基礎	学びの技法	講	必修17単位＋選択5単位以上	必(1)							
		理解と表現	講		必(2)							
		社会貢献の方法と実践	講		必(1)							
		情報学	講		選(1)							
	人間の理解	心理学	講		必(2)							
		倫理学	講		選(1)							
		応用倫理学	講			必(1)						
		思想の歴史	講			選(1)						
	社会の認識	歴史学	講			選(1)						
		社会調査法	講		選(1)							
		現代の社会と人間	講				必(1)					
		北海道の医療と社会・経済	講			必(1)						
	自然の探求	文化人類学	講				選(1)					
		生命科学概論	講		必(1)							
		自然科学概論	講		必(1)							
		統計学	講		選(1)							
	英語科目	生物学	講		選(1)							
		基礎生化学	講			必(2)						
		物理学	講			選(1)						
		スポーツ・レクリエーション学	講					選(1)				
専門基礎科目（計47単位）	基礎医学	基礎英語	講	必修44単位＋選択1単位以上	必(2)							
		英会話	講			選(2)						
		英語ライティング	講				選(2)					
		保健医学英語Ⅰ	講				必(2)					
		保健医学英語Ⅱ	講					選(2)				
		人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	講		必(3)							
		人体構造機能学Ⅰ（神経系）	講		必(2)							
		人体構造機能学Ⅰ（内臓・脈管系）	講			必(2)						
		人体構造機能学Ⅱ（筋・骨関節系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（神経系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（内臓・脈管系）	演				必(1)					
	臨床医学	人体構造機能学実習	実					必(3)				
		運動学	講			必(4)						
		運動学演習	演			必(3)						
		老年学	講				必(1)					
		人間発達学	講			必(1)						
		精神障害基礎論	講				必(1)					
		薬理学概論	講					必(1)				
		医学概論	講				必(1)					
		リハビリテーション概論	講		必(1)							
		周術期医療基礎論	講				必(1)					
		内部障害基礎論	講				必(2)					
	保健医療福祉とシヨンの理念	運動器障害基礎論	講				必(3)					
		中枢神経障害基礎論	講				必(2)					
		発達障害基礎論	講				必(1)					
		医用画像解析学概論	講					必(1)				
		臨床心理学	講				必(2)					
		医療安全管理学	講						必(1)			
		公衆衛生学	講								必(1)	
		福祉介護概論	講					選(1)				
	保健医療福祉とシヨンの理念	在宅リハビリテーション学	講					選(1)				
		言語聴覚療法概論	講					選(1)				
		健康増進障害予防概論	講			必(2)						
		健康増進障害予防演習Ⅰ（検査測定）	演					必(1)				
		健康増進障害予防演習Ⅱ（実践指導）	演									必(1)

令和2年度（2020年度）以降入学者

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目（計83単位）	基礎理学	理学療法概論	講	選択79単位以上	選必(1)							
		日常生活活動学(理学療法)	講				選必(2)					
		物理療法学	講						選必(2)			
		義肢装具学（理学療法）	講						選必(2)			
	理学療法評価学	理学療法基礎評価学Ⅰ	講				選必(2)					
		理学療法基礎評価学Ⅰ演習	演				選必(1)					
		理学療法基礎評価学Ⅱ	講					選必(3)				
		日常生活活動評価学	講					選必(1)				
		日常生活活動評価学演習	演					選必(1)				
		神経障害理学療法学	講						選必(2)			
	理学療法治療学	神経障害理学療法学演習	演						選必(1)			
		神経障害理学療法学実習	実							選必(1)		
		運動器障害理学療法学	講						選必(2)			
		運動器障害理学療法学演習Ⅰ	演						選必(1)			
		運動器障害理学療法学演習Ⅱ	演							選必(1)		
		内部障害理学療法学	講						選必(2)			
		内部障害理学療法学演習Ⅰ	演						選必(1)			
		内部障害理学療法学演習Ⅱ	演							選必(1)		
		療理地域学	講							選必(2)		
		生活環境学（理学療法）	講							選必(2)		
	理学療法臨床実習	臨床見学セミナー（理学療法）	演		選必(1)							
		臨床見学実習（理学療法）	実		選必(1)							
		臨床評価学セミナー（理学療法）	演							選必(1)		
		臨床評価学実習（理学療法）	実							選必(4)		
		臨床治療学セミナーⅠ（理学療法）	演								選必(1)	
		臨床治療学実習Ⅰ（理学療法）	実								選必(8)	
		臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	演								選必(1)	
		臨床治療学実習Ⅱ（理学療法）	実								選必(8)	
	応用理学療法	ケーススタディー	講							選必(2)		
		理学療法研究法	講							選必(1)		
		理学療法研究法演習（卒業研究）	演								選必(4)	
		理学療法管理学	講									選必(2)
		理学療法ゼミⅠ	講						選必(2)			
		理学療法ゼミⅡ	講									選必(4)
		スポーツ傷害理学療法学	講						選(1)			
		高齢者理学療法学	講						選必(1)			
		神経筋疾患理学療法学	講						選必(1)			
		神経障害理学療法学特論	講									選(2)
		運動器障害理学療法学特論	講									選(2)
		内部障害理学療法学特論	講									選(2)
		応用リハビリテーション	生活行為向上リハビリテーション論		講					選(2)		
	国際医療支援論		講									選(1)
合計単位数				163	24	23	20	21	18	20	37	

※授業形態 「講」：講義 「演」：演習 「実」：実験・実習
 ※配当年次 「必」：必修科目 「選必」：選択必修科目 「選」：選択科目

作業療法学専攻の科目一覧

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（計33単位）	導入科目基礎	学びの技法	講	必修17単位＋選択5単位以上	必(1)							
		理解と表現	講		必(2)							
		社会貢献の方法と実践	講		必(1)							
		情報学	講		選(1)							
	人間の理解	心理学	講		必(2)							
		倫理学	講		選(1)							
		応用倫理学	講			必(1)						
		思想の歴史	講			選(1)						
		歴史学	講			選(1)						
	社会の認識	社会調査法	講		選(1)							
		現代の社会と人間	講				必(1)					
		北海道の医療と社会・経済	講			必(1)						
		文化人類学	講				選(1)					
	自然の探求	生命科学概論	講		必(1)							
		自然科学概論	講		必(1)							
		統計学	講		選(1)							
		生物学	講		選(1)							
		基礎生化学	講			必(2)						
		物理学	講			選(1)						
		スポーツ・レクリエーション学	講					選(1)				
	英語科目	基礎英語	講		必(2)							
		英会話	講			選(2)						
		英語ライティング	講					選(2)				
		保健医学英語Ⅰ	講					必(2)				
		保健医学英語Ⅱ	講						選(2)			
専門基礎科目（計47単位）	基礎医学	人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	講	必修44単位＋選択1単位以上	必(3)							
		人体構造機能学Ⅰ（神経系）	講		必(2)							
		人体構造機能学Ⅰ（内臓・脈管系）	講			必(2)						
		人体構造機能学Ⅱ（筋・骨関節系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（神経系）	演			必(1)						
		人体構造機能学Ⅱ（内臓・脈管系）	演				必(1)					
		人体構造機能学実習	実					必(3)				
		運動学	講			必(4)						
		運動学演習	演			必(3)						
		老年学	講				必(1)					
		人間発達学	講			必(1)						
		精神障害基礎論	講				必(1)					
	臨床医学	薬理学概論	講					必(1)				
		医学概論	講				必(1)					
		リハビリテーション概論	講		必(1)							
		周術期医療基礎論	講				必(1)					
		内部障害基礎論	講				必(2)					
		運動器障害基礎論	講				必(3)					
		中枢神経障害基礎論	講				必(2)					
		発達障害基礎論	講				必(1)					
		医用画像解析学概論	講					必(1)				
		臨床心理学	講				必(2)					
		医療安全管理学	講						必(1)			
		公衆衛生学	講								必(1)	
	保健医療福祉とシヨンの理念	福祉介護概論	講					選(1)				
		在宅リハビリテーション学	講					選(1)				
		言語聴覚療法概論	講					選(1)				
		健康増進障害予防概論	講			必(2)						
		健康増進障害予防演習Ⅰ（検査測定）	演					必(1)				
		健康増進障害予防演習Ⅱ（実践指導）	演								必(1)	

令和2年度（2020年度）以降入学者

科目区分		授業科目の名称	授業形態	必要単位数	配当年次									
					1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目（計80単位）	基礎作業療法	作業療法概論	講	選択75単位以上	選必(1)									
		作業学概論	講				選必(1)							
		作業分析学	演				選必(2)							
		日常生活活動学（作業療法）	講				選必(2)							
		日常生活活動学（作業療法）演習	演				選必(1)							
		義肢装具学（作業療法）	講				選必(1)							
		義肢装具学（作業療法）演習	演				選必(1)							
		社会生活行為学	講					選必(1)						
	作業療法評価学	作業療法評価学（身体・老年期障害）	講			選必(1)								
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体・老年期障害）	演				選必(1)							
		作業療法評価学演習Ⅱ（身体・老年期・発達障害）	演					選必(1)						
		作業療法評価学（精神障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学演習Ⅲ（精神障害）	演					選必(1)						
		作業療法評価学（発達障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学（高次脳機能障害）	講					選必(1)						
		作業療法評価学演習Ⅳ（高次脳機能障害）	演					選必(1)						
	作業療法治療学	身体障害作業治療学	講						選必(2)					
		精神障害作業治療学	講							選必(2)				
		発達障害作業治療学	講							選必(2)				
		老年期障害作業治療学	講							選必(2)				
		高次脳機能障害作業治療学	講							選必(1)				
		総合事例演習	演							選必(2)				
		総合実技演習	演							選必(2)				
		療作地法業域	生活環境学（作業療法）		講					選必(2)				
	地域作業療法学		講						選必(2)					
	作業療法臨床実習	臨床見学セミナーⅠ（作業療法）	演		選(1)									
		臨床見学実習Ⅰ（作業療法）	実		選必(1)									
		臨床見学セミナーⅡ（作業療法）	演				選(1)							
		臨床見学実習Ⅱ（作業療法）	実				選必(1)							
		臨床評価学セミナー（作業療法）	演							選(1)				
		臨床評価学実習（作業療法）	実							選必(4)				
		臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	演									選(1)		
		臨床治療学実習Ⅰ（作業療法）	実									選必(8)		
		臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	演									選(1)		
		臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	実									選必(8)		
	応用作業療法	作業療法研究法	講								選必(1)			
		作業療法研究法演習（卒業研究）	演										選必(4)	
		作業療法管理学	講											選必(2)
		作業療法特別セミナー	講											選(3)
		特別支援教育概論	講											選(1)
		箱づくり法	講											選(1)
		身体・老年期障害作業治療学特論	講											選(1)
		精神障害作業治療学特論	講											選(1)
	シテハ応用ン	生活行為向上リハビリテーション論	講							選必(2)				
		国際医療支援論	講											選(1)
			合計単位数			160	24	24	20	23	15	19	35	

※授業形態 「講」：講義 「演」：演習 「実」：実験・実習
 ※配当年次 「必」：必修科目 「選必」：選択必修科目 「選」：選択科目

5. 教育マップ

(1) 教養科目

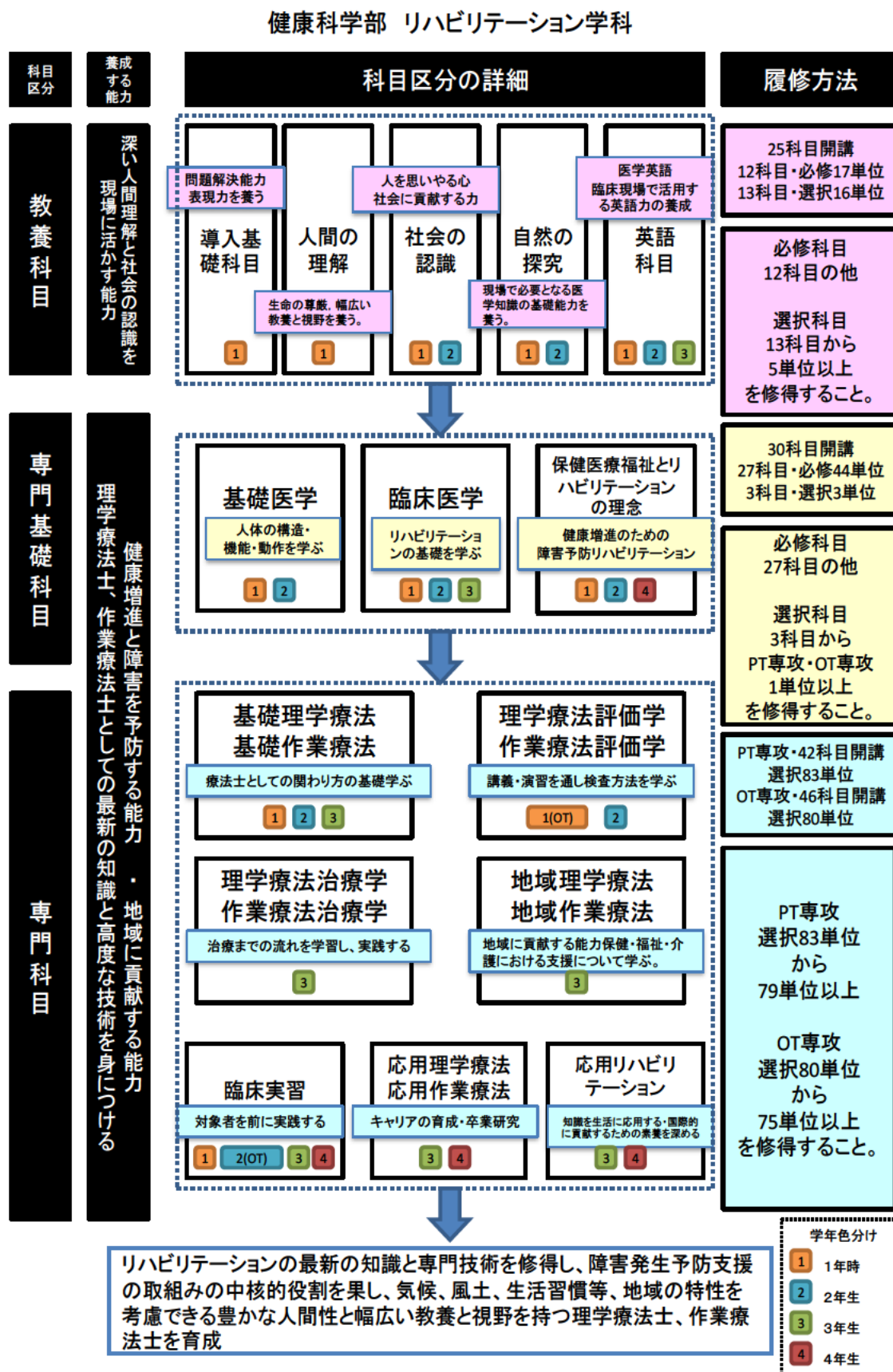
教養科目では、直接人を相手とする医療専門職に必須である豊かな人間性を培い、同時にリハビリテーションの知識と技術とが現代社会で果たす意味を学生が自覚できるようになることを目指しています。学生がリハビリテーション医療従事者としての使命感とやり甲斐とを、まず明確にしてほしいと願っています。具体的には、学習をはじめに当たってまず身につけておくべき態度と技術を教える「導入基礎科目」、そして人間・社会・自然に関する幅広い理解を得るために、「人間の理解」、「社会の認識」、「自然の探求」という科目区分を設けてあります。また、英語能力の多面的な修得のために、3年次まで多くの授業科目が開講されます。

(2) 専門基礎科目

専門基礎科目は、専門科目を学修する前に、その基礎となる事柄を修得します。「基礎医学」11科目、「臨床医学」12科目、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」7科目の3区分からなります。

(3) 専門科目

専門科目では、理学療法士、作業療法士になるために必須な専門的知識と技術を学修します。「基礎理学療法・基礎作業療法」、「理学療法評価学・作業療法評価学」、「理学療法治療学・作業療法治療学」、「地域理学療法・地域作業療法」、「理学療法臨床実習・作業療法臨床実習」、「応用理学療法・応用作業療法」、「応用リハビリテーション」の7つの科目区分からなり、理学療法学専攻42科目、作業療法学専攻46科目の授業科目があります。



【以下の6. 履修登録～11. 取得資格は、「令和元年度（2019年度）以前入学者」と「令和2年度（2020年度）以降入学者」と共通】

6. 履修登録

- (1) 履修登録は、学期ごとに所定の期間内で、各自マークシートにより登録してください。登録期間等の詳細については、掲示等で周知します。
- (2) 各年次に配当した授業科目は、原則としてその年次に履修してください。
- (3) 上級年次に配当している授業科目を下級年次の者は履修できません。ただし、上級年次の者が下級年次に配当している授業科目を履修することはできます。
- (4) すでに単位を修得した授業科目を、再度重複して履修することはできません。
- (5) 原則として、同一期の同一曜日、同一授業時間に2科目以上を履修登録することはできません。

7. 在学年限

8年を超えて在学することはできません。

8. 休学期間

- (1) 休学期間は、1年以内とします。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めます。
- (2) 休学期間は、通算して4年を超えることはできません。
- (3) 休学期間は、前記7. の在学年限には算入しません。

9. 卒業認定方法

本学に4年以上在学して、前記2. の卒業要件（「令和元年度（2019年度）以前入学者」はP6、「令和2年度（2020年度）以降入学者」はP17参照）に従って所定の単位を授与された者について、教務委員会で審議の上、学長は教授会の意見を聴いて卒業を認定します。

10. 学位の授与

卒業を認定した者には、次の学位を授与します。

- (1) リハビリテーション学科 理学療法学専攻 学士（理学療法学）
- (2) リハビリテーション学科 作業療法学専攻 学士（作業療法学）

11. 取得資格

本学健康科学部リハビリテーション学科、理学療法学専攻および作業療法学専攻は、「理学療法士及び作業療法士法」第11条第1号及び第12条第1号に定める学校として指定されており、卒業後は、理学療法士又は作業療法士の国家試験を受験する資格が付与されます。

Ⅲ. 試験について

1. 試験の種類

試験には、定期試験、追試験および再試験があります。

(1) 定期試験

- ① 学期の一定期間内に試験を実施します。ただし、期間外（授業等）で行う場合には授業担当教員の指示に従ってください。
- ② 試験期間および試験時間割については、掲示でお知らせしますので確認してください。

(2) 追試験

- ① 病気、忌引、その他やむを得ない下記の理由で定期試験を欠席した学生は、所定の手続きを経て追試験を受験できます。
イ. 本人の病気又は怪我・・・医師の診断書が必要
ロ. 公共交通機関の遅延・・・遅延証明書が必要
ハ. 忌引き(三親等以内の親族(三親等は曾祖父母に限る)の死亡とし、法事は含めない)・・・忌引きを証明できる書類が必要
ニ. 災害(台風、水害、雪害、火災等)・・・被災証明書又は証明できるものが必要
ホ. その他、本学がやむを得ないと認めたもの。
- ② 追試験を受けようとする学生は、原則として、欠席した試験が行われた日の翌日から起算して3日以内に、その試験に欠席した理由を証明する書類を添付して、「追試験願」を学務課に提出してください。
- ③ 追試験の日程は、授業担当教員と協議の上、掲示でお知らせします。
- ④ 追試験の成績評価は、原則として定期試験と同様に評価されます。

(3) 再試験

- ① 再試験は、定期試験および追試験で60点未満の不合格となった場合、及び私事により定期試験を欠席した場合に、学生の願い出によって行われます。
- ② 再試験を希望する者は、成績評価の発表後、本学が指定した期間内に受験料（有料：1科目3,000円）を添えて「再試験願」を総務課に提出してください。
- ③ 再試験の日程は、掲示でお知らせします。
- ④ 再試験で合格した場合の成績評価は、C評価とします。

2. 受験資格

各授業科目の時間数の3分の2以上出席しなければ、試験を受けることはできません。授業時間数が8回の場合は3回、15回の場合では6回欠席すると受験はできません。授業の出欠管理は、必ず学生の自己責任で行ってください。

3. 受験上の注意

- (1) 試験に際しては、学生証を机上に提示してください。学生証を忘れた場合は、総務課で「仮学生証」の発行(有料：300円)を受けてください。学生証又は仮学生証がなければ受験できません。
- (2) 試験開始後30分以上遅刻した場合は、入室することができません。また、試験開始後30分以内は退出することができません。
- (3) 学生証、時計および筆記具以外のものを机上に置くことはできません。これ以外の所持品は（音の出る機器は電源を切ったうえで）鞆の中に入れて座席の下に置いてください。
- (4) 携帯電話等の電子機器を時計代わりに机上に置くことはできません。
- (5) 受験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは退出を命じます。
- (6) 受験中は静粛を保ち、退出後も他の受験者の迷惑にならないよう静かに行動してください。
- (7) 配付された答案用紙等は、回収しない問題用紙を除き、すべて提出しなければなりません。

4. 不正行為が発覚した場合

- (1) 試験監督者は、学生の受験を直ちに停止させ、当該不正行為の事実関係を確認し、問題用紙、答案用紙及び証拠品を没収します。
- (2) 当該試験及び当該期間の全科目を「無効」とし、さらに再試験の受験も不可とします。
- (3) 学生の懲戒手続きに関する内規で定める懲戒諮問委員会で、懲戒内容を審議します。

5. 試験における不正行為

- (1) 他の者が受験者に代わって受験又は受験者が他の者を代わりに受験させること。
- (2) カンニングペーパー又はこれに類するものを使用すること。
- (3) 持ち込み不可とされているものを使用すること。
- (4) 所持品、机上、身体等にメモを書き込んでおくこと。
- (5) 答案を相互に交換し、答案を作成すること。
- (6) 他の受験者の答案を見たり又は他の受験者に答案を見せたりすること。
- (7) 携帯電話等の通信機器を利用して、試験時間中に交信すること。また、それらを目の届く場所に置くこと。
- (8) 監督者が明らかに不正行為に類すると判断する行為を受験者が行うこと。
- (9) その他、前各号に類すると認める行為。
- (10) 試験には、定期試験のほか、小テストや中間試験等も含む。

6. レポート等における不正行為

- (1) 他人の著作物を盗用すること。
- (2) 実験や調査結果等のデータを捏造又は偽造すること。
- (3) 他人のレポート並びに著作物を，自分のものとして提出すること。
- (4) 他人のレポート並びに著作物から，適切な出典引用処理を行わずに流用すること。
- (5) 他人と同一の文書表現でレポート等を作成し，提出すること。
- (6) 前各号に掲げる行為を幫助すること。
- (7) その他，レポート等の公正な成績評価を妨げると認める行為。

Ⅳ. 成績評価について

1. 成績評価の方法

- (1) 授業科目の成績は、それぞれの科目の評価方法により判定します。
- (2) 成績の評価は、「S」～「D」に区分し、「D」を不合格とします。
- (3) 授業科目の単位は、当該科目が終講し、次の表の学習成果の質に応じて評価した上で、「S」から「C」の合格判定を得たときに認定されます。

評価	学修成果の質
S	授業科目の到達目標のすべての面で <u>秀逸</u> な学修成果をあげた。
A	授業科目の到達目標のすべての面で <u>優秀</u> な学修成果をあげた。
B	授業科目の到達目標のすべての面で <u>良好</u> な学修成果をあげた。
C	授業科目の到達目標のほとんどの面で合格となる最低限の学修成果であったが、良好な面がいくつかあった。
D	授業科目の到達目標のほとんどまたはすべての面で合格となる最低限の学修成果はなかった。

2. GPA制度

本学では、成績を数値化することで、学習効果を客観的に把握するために、GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。修得単位数という「量」だけではなく、学習状況の「質」を判断できる指標を提供することにより、学生の学習意欲の向上や学習の計画などの自己管理に資することを目的としています。

詳しくはホームページの「在学生の方」→「学生生活について」→「GPA制度の導入について」をご覧ください。

評価区分と得た成績の点数に対するGP（グレード・ポイント）は次のとおりです。

点 数	評 価	判 定	G P
100点～90点	S	合格	4
89点～80点	A	合格	3
79点～70点	B	合格	2
69点～60点	C	合格	1
59点以下	D	不合格	0

※ 再試験で合格の評価は、点数にかかわらずすべて「C」評価とします。

3. GPAの対象外

- (1) 編入学又は転入学における単位認定科目
- (2) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (3) 他大学等との単位互換等で修得した科目
- (4) 臨床見学実習(理学療法), 臨床評価学実習(理学療法), 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法), 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法), 臨床見学実習Ⅰ(作業療法), 臨床見学実習Ⅱ(作業療法), 臨床評価学実習(作業療法), 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法), 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)

4. GPAの算出方法

(評価を受けた授業科目のGP×その科目の単位数)の合計／評価を受けた科目の単位数の合計

※ GPAの最高値は4.00となります。

5. GPAの算出例

授業科目	評 価	GP (a)	単位数(b)	a×b
〇〇学	B	2	2	4
□□概論	S	4	2	8
△△基礎論	A	3	1	3
◎◎演習	C	1	1	1
◇◇学(選択)	D	0	1	0
計			7	16

分子：(評価を受けた授業科目のGP (a) × その科目の単位数 (b)) の合計 = 16

分母：評価を受けた科目の単位数の合計 = 7

GPA = $16 \div 7 = 2.29$ (小数点第3位を四捨五入)

※ S評価が多いとGPAは高くなり、逆にC評価が多くなるとGPAは低くなります。特にD評価があるとGPAに大きな影響があることに注意してください。

6. 成績の通知

各期終了後、本人には授業科目別の成績を掲示するほか、学費負担者には、評価区分、学期GPA及び通算GPAを記載した「学業成績記録」を郵送で通知します。

